

SOKEN SANGYO

切梁・腹起用点検安全通路

切梁ブラケット・腹起ブラケット・伸縮手摺柱

巾木クランプ・巾木ジョイント金具・単管ジョイントサヤ管



手摺にラージテッスル1-A型を使用



巾木クランプ

巾木ジョイント金具



(100^L×150^H×51^W)



単管ジョイントサヤ管 (φ60.5×200^L)



綜建産業株式会社

<http://www.soken-sangyo.co.jp>

東京 東京都台東区雷門1-16-4
TEL (03) 3845-2497 FAX (03) 3842-5834
E-mail: tokyo@soken-sangyo.co.jp

前橋 群馬県前橋市清野町160-3
TEL (027) 252-6644 FAX (027) 251-7665
E-mail: honsya@soken-sangyo.co.jp

大阪 大阪府大阪市北区豊崎3-4-14
TEL (06) 6372-8440 FAX (06) 6372-8153
E-mail: osaka@soken-sangyo.co.jp

切梁ブラケット

仕 様

- H鋼適応サイズ250,300,350,400m/m
 - 自重 5kg ● 板厚 24m/mまで
 - 許容荷重 200kg
- 【注意】 ● 各ブラケットの設置スパン長は、2メートル以内とする。
- 手摺高さを充分に取り、安全を確保して下さい。

取 付 方 法

1. H鋼のサイズに合わせ、トグルピンにて固定する。(図1)
・基本スパンは1800m/mピッチ
2. ブラケット先端のパイプ(φ42.7)に単管もしくは伸縮手摺柱を差し込み、M10ボルト・ナットにて固定する。(図2)
3. 単管とクランプにて横手摺を組み立てる。(図2)
4. 床レベルを調整したい場合は、かさ上金具にて高さ調整。(図2)
5. 足場板(W240)を3枚敷き番線にてブラケットまたはかさ上金具に固定する。
6. 巾木クランプにて巾木(足場板)を固定し完了。



図1

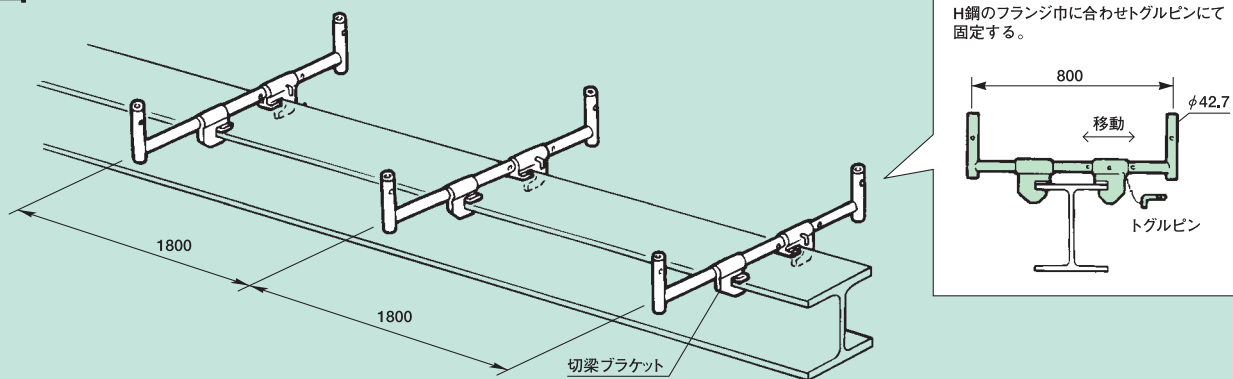


図2

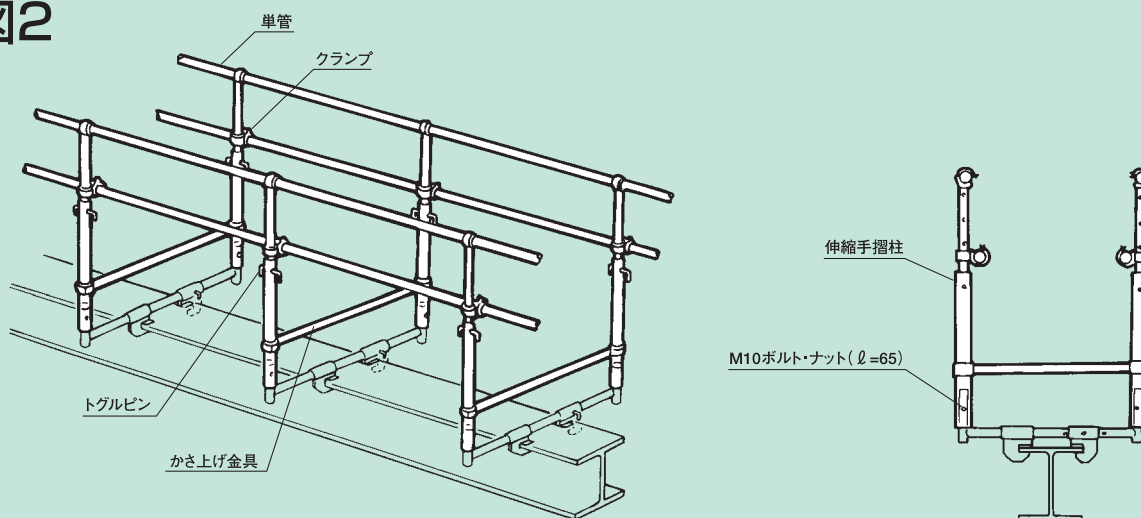
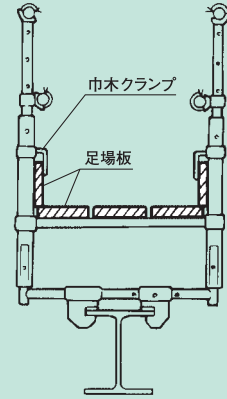
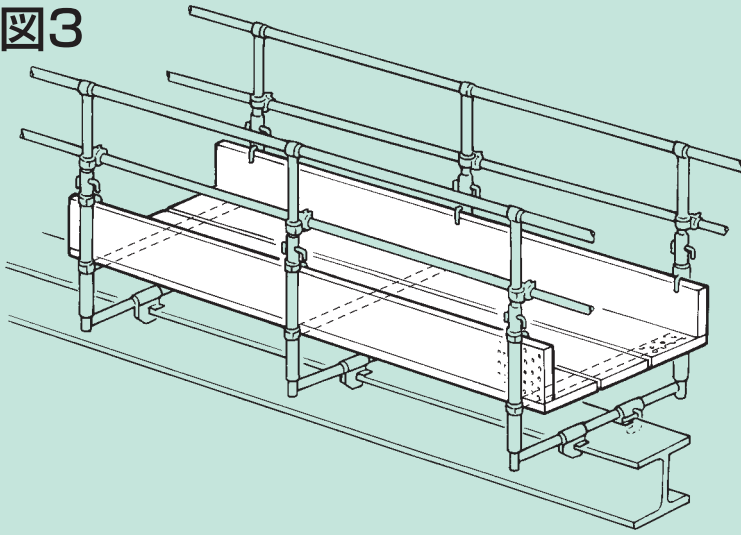
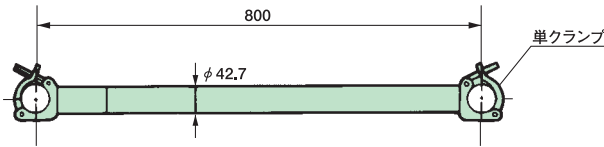


図3

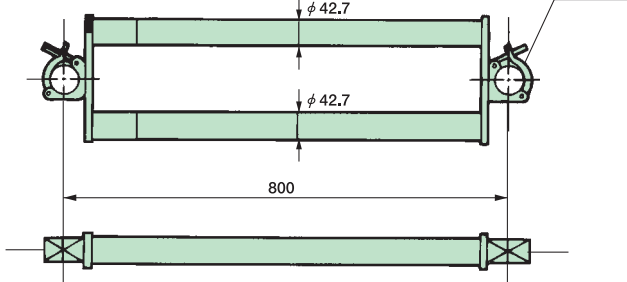


かさ上金具

- シングル 自重 2.5KG



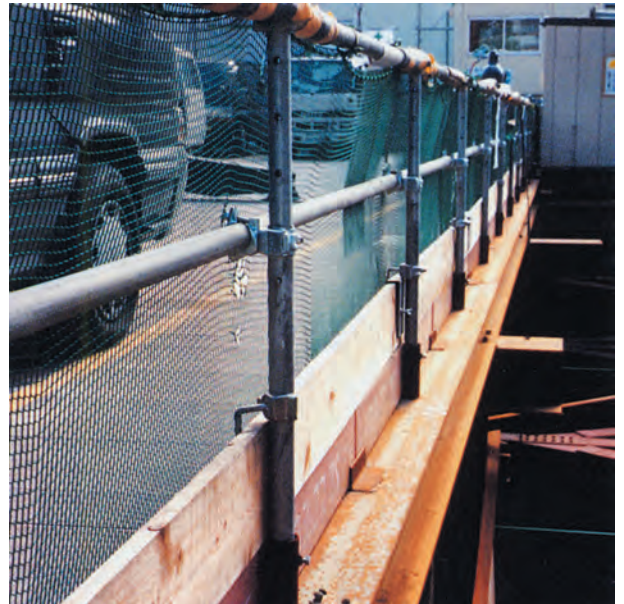
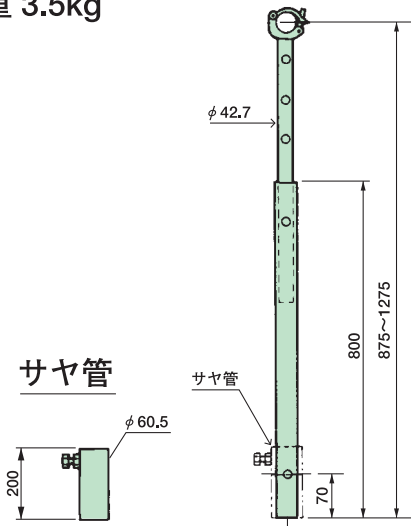
- ダブル 自重 5.5KG



伸縮手摺柱

仕 様

- 自重 3.5kg



腹起ブラケット

仕 様

- H鋼適応サイズ250,300,350,400m/m
板厚24m/mまで
- 自重 5kg
- 許容荷重 200kg

取 付 方 法

1. 本体ボルト締め付けにより、H鋼に固定する。
・基本スパンは1800m/mピッチ (図1)
2. ブラケット先端のサヤ管 (φ60.5) に単管もしくは伸縮手摺柱を差し込み、サヤ管ボルト (M10) にて固定する。(図2)
3. 単管とクランプにて横手摺を組み立てる。(図2)
4. 足場板 (W240) を3枚敷き、番線にてブラケットに固定する。(図3)
5. 巾木クランプにて巾木(足場板)を固定し完了。(図3)



図1

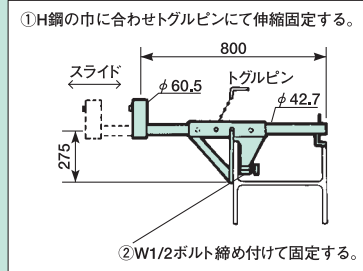
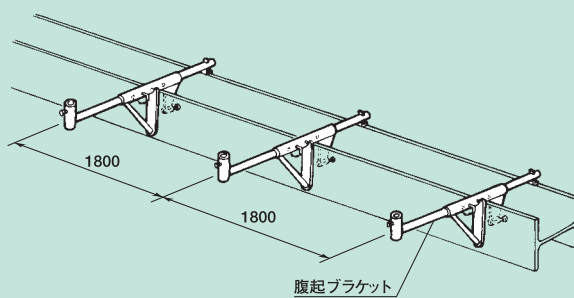


図2

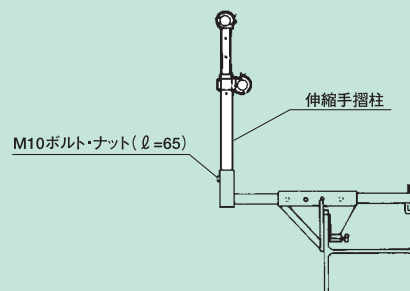
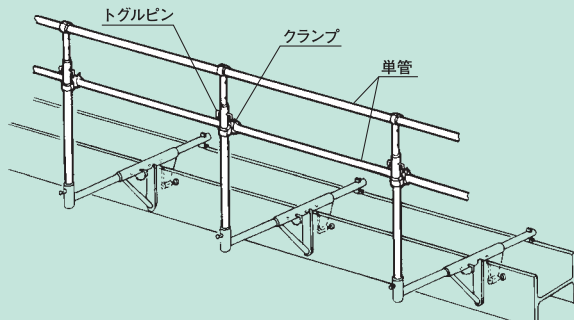
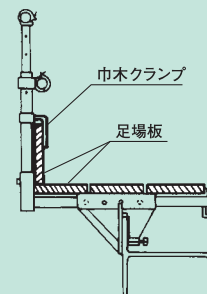
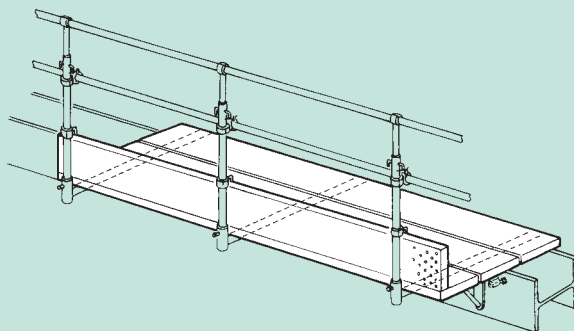


図3



【関係法令】 労働安全衛生規則 第10章 第1節 第540条 第542条 第544条 第552条
仮設工業会発行「墜落防護工安全基準の解説」